同志社大学アメリカ研究所

第48回連続コロキアム「アメリカ政治を再考する」第7弾

「外から見たアメリカ」

ヨーロッパ編



2026年

11月19日（木）

16:40-18:10（5限）

今出川キャンパス

良心館　RY 102



トランプのアメリカからの「自立」？ーヨーロッパ諸国による米欧関係の再検討とその限界ー

第二次トランプ政権の成立以来、安全保障を中心とする米欧関係は大きく揺らいでいる。トランプ政権による対外関係の見直しに対抗するかのように、ヨーロッパ諸国からさまざまな安全保障政策が提唱されている。

しかしこれらの政策では、しばしば米欧関係の維持が強調されている。なぜヨーロッパ諸国はこのように慎重な姿勢を示しているのか、歴史的背景を中心に検討したい。

倉科一希

同志社大学
グローバル
地域文化学部



トランプ政権を「誘惑」するロシアの「非自由主義的平和」の実践 ー権威主義的な紛争関与の「成果」とはー

近年、欧米諸国が主導してきた「リベラル国際秩序」の揺らぎと「権威主義的国際秩序」の台頭が指摘されている。その背景の一つとして、国連や西側諸国が推進してきた「自由主義的平和構築」の行き詰まりと、それに代わる「非自由主義的平和構築」への注目が挙げられる。では、「非自由主義的平和」の代表的実践者とされるロシアの権威主義的な紛争関与とはいかなるものであり、どのような「成果」と限界を示しているのかを本報告では考えたい。

富樫耕介

同志社大学
政策学部

合理的配慮が必要な方は同志社大学アメリカ研究所事務室までご連絡ください TEL：075-251-4900　FAX：075-251-3091 メールアドレス：ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp